

第79回国民スポーツ大会スケート競技会(スピード)

監督会議資料

1 競技運営に関する確認事項

- (1) 競技規則について
本大会実施要項および(公財)日本スケート連盟スピードスケート並びにシングルトラックスピードスケート競技特別規則に基づいて実施し、使用するリンクは標準シングルトラックCタイプとする。
- (2) 競技日程について
 - ①競技は原則タイムテーブルどおり行い、競技の開始時刻は早めない。
※天候状況などによりタイムテーブルを変更する場合は事前に通告し、緊急の監督会議を開催することもある。
 - ②競技開始5分前と2分前に通告する。
 - ③競技が遅れた場合は、随時次の競技種目の開始時刻を通告する。
 - ④整氷時間は、全面30分・コース20分とする。
- (3) プログラムの訂正について
プログラム中に誤字・脱字がある場合は、「プログラム訂正届」に記入し、監督会議終了後に受付に提出すること。
- (4) 選手の交代(変更)・棄権について
 - ①参加申込をしていない選手と交代する場合
本大会実施要項に定める様式により提出すること。なお、選手交代は(公財)日本スケート連盟スピード競技規則運用マニュアルに定める事由に準じる。
 - ②補欠選手との変更、または棄権する場合
「補欠起用届」・「棄権届」に必要事項を記入し、その種目の競技開始1時間前までに記録本部へ提出すること。
- (5) リレーオーダーについて
 - ①予選は前日の14:00までに、決勝は前日の17:00までに「リレーオーダー用紙」に必要事項を記入し、記録本部に提出すること。
 - ②提出後のオーダー変更については、各種目別リレー競技開始1時間前までに「リレーオーダー用紙」を再度記録本部へ提出すること。
- (6) 大会で使用する時計について
メインシステムはスリットカメラによる自動計時、バックアップシステムは手動計時とする。
- (7) 公式練習について
 - ①レース期間中の公式練習は都道府県区分を設けない。
 - ②リレー競技の公式練習は競技2日目及び競技3日目の競技終了後、通常の公式練習を行った後に、次の順及び時間で行う。
1月27日 少年女子 ⇒ 少年男子1組 ⇒ 少年男子2組 ⇒ 成年女子 ⇒
成年男子1組～2組 ⇒ 成年男子3組～4組 各15分間。
1月28日 少年女子 ⇒ 少年男子 ⇒ 成年女子 ⇒ 成年男子 各15分間。
※公式練習中は安全用具を装着することが望ましい。
- (8) スケートの脱着等について
 - ①スケートの脱着は、リンク内側の指定ベンチで行うこと。
※移動には競技運営棟地下通路を利用し、リンクの横断は禁止とする。

②ブレードケースやドリンクボトル、ジャージなどを氷上に置かないこと。

※必要に応じて専用のかごを使用すること。

(9) 招集・ブレードチェック・安全用具確認及びコース抽選について

①招集は、各距離競技開始20分前からとし、競技運営棟2階招集エリアで行う。

点呼を受けた際に、レースキャップを受け取り、レース終了後は直ちに同じ場所にある回収ボックスに返却すること。

②公式練習期間中にブレードチェックを実施していない選手は招集エリアにて随時受け付ける。

※予選の招集時までにはチェックを完了していない選手は出走不可(失格)となる。

③各種目の予選招集時に安全用具の所持確認を実施する。

※2種目以降の選手は免除する。

④安全用具の装着確認は各スタート地点での招集時に、リレー競技2走～4走はバックストレート控えゾーンで実施する。

※規定を満たさない選手は出走不可(失格)となる。各自の責任で装着しレースに臨むこと。

⑤コース抽選は、各種目のスタート地点内側アップレーンで行い、スタートレーンに並んだ時にアシスタントスターターが抽選棒を回収する。

(10) ウォーミングアップについて

①競技中のアップレーン使用については、当該距離出場者のみとする。

②レース前のウォーミングアップ時には、レースキャップを装着したヘルメットをかぶらないこと。ヘルメットの置き場はホームストレートの脱着カゴを利用すること。

③スタート・フィニッシュ地点付近の通過時は、係の指示に従うこと。

④リレー競技時は、第4走者がスタートするまで、他の組の選手は「スケート脱着場」で待機すること。係員の指示に従いホームストレートより氷上に上がること。

⑤バイク等の利用については、競技運営棟2階のバイク専用ルームを利用すること。

⑥トレーナー等のサポートは競技運営棟1階のコンディショニングルーム利用を推奨する。

(11) コーチングゾーンについて

①コーチングはバックストレートのコーチングゾーンで行うこと。

②氷上でのコーチングは禁止とする。

③スタート時、スタート地点から前後20mは立入禁止とする。

(12) リレーゾーンについて

①リレーゾーンは、ゾーン入口・ゾーン入口から5m地点・ゾーン出口に赤色のコーンを設置し区分する。

②リレー競技中、リレーゾーン内の外周は立入禁止エリアとする。

(13) 選手控室及び待機所・更衣室について

①選手控室は、競技運営棟2・3階控室を都道府県ごとに割り当てする。

②更衣室は、競技運営棟2階に男・女それぞれ設置する。

③貴重品等の管理は各自で行うこと。

④会場内のごみは分別して所定のごみ箱に入れること。

(14) 種目別表彰式について

リンクハウス食堂内の表彰会場で、1位から8位までの選手を対象に随時行う。

該当選手は、競技終了後、表彰のアナウンスがあるまで会場で待機し、速やかに表彰エリアに集合すること。

- (15) 競技記録について
①組み合わせおよび記録速報については SEIKO スポーツリンクを使用する。
②公式リザルトは大会ホームページに掲示する。
③着差判定画面(ゴルフフォト)を大会ホームページにて公開する。
- (16) 医療救護などについて
①会期中、救護所に医師・看護師・保健師を配置し、応急措置を行う。
②AEDはリンクハウス救護所に設置する。
- (17) 無線機の使用について
競技役員が無線機(1ch、2ch)を使用する。会場で無線機を使用する場合は、他チャンネルを使用すること。
- (18) 抗議について
抗議は該当競技終了後30分以内に監督名、文書(任意様式)でレフェリーに提出する。
抗議の規則はISU一般規程123条を適用する。
<ISU123条-4(抗議の制限)-B>
抗議を受けつける・・・算術計算の場合のみ容認。
抗議を受けつけない・・・(R253~R262条)の失格、レース規則違反に対する失格の有無に関するレフェリー、スターターの判定に対する抗議。
- (19) その他
①コーナーからのスタート時は、スタートラインからポイントを4ヶ外す。
②1組に9名以上出走する場合は、2列スタート方式とする。
③各都道府県名を表すワッペン、シール等が落下しないよう万全を尽くすこと。
④上体を起こした姿勢でのゴールや次ラウンド進出がほぼ決定後、レース中に上体を起こしての滑走等が無いよう各都道府県監督、コーチが指導すること。

2 会場運営について

- (1) 会場への入場について
会期中、開場は4日間とも午前7時00分とする。
- (2) 競技中の写真・ビデオ撮影について
報道員エリアでは、報道関係者及び事務局手配の記録撮影者以外の写真・ビデオ撮影はできない。また、報道員エリア以外の場所では、撮影可能とするが、フラッシュは禁止とする。
- (3) 宿泊・弁当・輸送について
①輸送については、シャトルバスのほかロープウェイをADカードの提示により無料で利用することができる。最新の時刻表等、詳細を大会ホームページに掲載するので確認すること。
②弁当の引き換えは、リンクハウス食堂内の弁当引換所で行う。引き換え時間は、11時から14時とし、空箱は15時まで弁当引換所にて回収する。
③宿泊についての問い合わせは、各宿舎に直接問い合わせること。
- (4) 取材について
インタビューについては、表彰会場にあるインタビューエリアで行うこと。インタビューエリア以外で個別に取材する場合は、監督に許可を得たうえで行うよう報道に通知をしてあるので各県対応すること。

3 ドーピングに関する事項について 別紙のとおり